

魅力ある住みよい西諸づくりへ 定住自立圏構想を推進

3月16日、市は定住自立圏構想に基づく中心市として中心市宣言を行いました。これは、西諸2市1町が連携し圏域として必要な生活機能を確保するために中心的な役割を担う意思を明らかにするもの。肥後市長は「魅力ある住みよい西諸づくりにまい進したい」と話していました。



中心市宣言を行う肥後市長。今後は西諸で連携して取り組む具体的な内容を協議していきます

惜しまれつつ歴史に幕 須木区鳥田町保育園が閉園

3月17日、鳥田町保育園で卒園式と閉園式が行われました。鳥田町保育園は、昭和44年に須木村立鳥田町保育所として開所し、これまでの43年間で307人が卒園。園舎の老朽化や園児の減少のため、閉園となりますが、その機能や伝統は、須木中央保育園に統合されます。



式で、踊りを披露する園児たち。片之坂ふき子園長は、「伝統と誇りを、いつまでも忘れないで」と話していました



議会で最後のあいさつを述べる長瀬区長
あいさつを終えると大きな拍手が区長に送られました

合併後の一体感の醸成に尽力 長瀬道大野尻町区長が退任

3月22日、野尻町区で2年間区長を務めた長瀬道大野尻町区長が退任しました。これは、小林市と旧野尻町で交わされた合併協議で、区長の設置期間を2年間と定めたことによるもの。長瀬区長は「今後は小林市が抱える課題を一市民として受け止め、市政の発展を願いたい」と話していました。



自宅の庭先などで徘徊者役を見つけると、声かけに挑戦。優しく話しかけながら、行き先や住まいなどを聞いていました

認知症の方を地域で見守ろう 栗須地区で徘徊模擬訓練

3月11日、小林市第1回徘徊模擬訓練が野尻町栗須地区でありました。認知症になっても安心して暮らせる地域づくりを目指し、地域住民や民生委員、消防団、福祉施設など16団体108人が参加。3人の徘徊者役に対する住民の声かけ体験などを通して、認知症についての理解を深めました。

小林市出身の選手も活躍 全日本ハンドボールリーグ戦

3月4日、日本ハンドボールリーグ小林大会が市民体育館で開催されました。男子・トヨタ車体対大崎電気、女子・ソニーセミコンダクタ対広島メイプルレッズを1300人が観戦。男子は、後半3点差を追うトヨタ車体の小林工業高校出身木切倉真一選手が4得点を上げるなど奮起し、引き分けに終わりました。



シュートを止める小林工業出身のトヨタ車体ゴールキーパー、申斐 昭人選手。女子は日向市出身の黒木聡子選手が活躍し、ソニーが勝利

岩切章太郎さんの功績を紹介 自殺予防講演会

3月9日、自殺予防講演会が文化会館で行われました。これは、自殺対策に取り組むNPO法人こばやしハートムが主催したもので約180人が参加。講演では県芸術文化協会の渡邊綱纜会長が宮崎交通で30年以上仕えた創始者の故岩切章太郎さんについてエピソードを交えて紹介しました。



岩切さんとの思い出を語る渡邊さん。講演会後はHARUが心温まるコンサートを開催し会場を盛り上げました



地域の魅力を堪能でき健康にも良いウォーキング。小林市では来年2月に第15回みやざきツデーマーチが開催されます

ウォーキングで小林市の自然 と味覚を堪能し健康に

2月23日、みやざきツデーマーチ小林せっかくウォークが開催されました。県内外から約160人が参加し、すきむらんど周辺の6キロと三之宮峡周辺の4キロをウォーキング。参加者はコース途中で振舞われた特産品の完熟金柑やいちご、しし鍋などを堪能しながら小林市の豊かな自然を満喫していました。



高崎直哉学校長が一人一人に卒業証書を手渡し、「心の痛みが分かる優しい医療スタッフになってほしい」と卒業生に伝えました

地域医療の担い手として決意 准看護学校で卒業式

3月2日、社団法人西諸医師会立小林准看護学校で卒業式が行われました。21名の生徒が看護師としての決意を胸に、親しんだ学舎に別れ。卒業生を代表して、山口さやかさんが「学校で学んだ誇りを胸に、人の命を預かることの責任を自覚し、看護の道を進みたい」と決意を述べました。